令和8年度　講習会一覧（概要）

No.	テーマ	実施概要（予定）	目的	分野			対象者（推奨）				レベル	講師	実施日	時間	形式	会場	講習から得られる成果	期待と効果
				共通	ICT	BIM/CIM	発注	設計	調査・測量	施工								
1	ICT・BIM/CIMを始める前に考えるべきこと	・建設DXの動向や発注者・受注者双方の役割についての講演 ・失敗事例・小規模現場でのICT活用事例の紹介 ・質疑応答・アンケート記入	・建設DXの最新動向や発注者・受注者双方の役割の理解 ・ファーストアクションに向けた考え方の習得 ・先進事例を通じた実務活用イメージの醸成	○	○	○	○	○	○	○	初級	合同会社yasstyle　松尾 様	8/27	9:30～12:30	座学	鳥取県建設技術センター	建設DXの最新動向や発注者・受注者双方の役割を理解し、初動に向けた考え方を学ぶとともに、先進事例を通じて実務活用のイメージを持てるようにする。	・経営層と実務層の認識のギャップ解消 ・参加ハードルの低減 ・後続講習への参加意欲の向上
2	サステナブルな建設業のために今できること	・サステナブルな建設業に向けた講演 ・表彰歴のある社内改革・地域貢献の取り組み事例紹介 ・質疑応答・アンケート記入	・建設DX推進に向けたアプローチ方法の理解 ・データ活用による業務効率化の理解 ・サステナブルな建設業の実現に向けた考え方の理解	○	○	○	○	○	○	○	初級	株式会社新庄砕石工業所　柿崎 様	9/4	13:00～15:00	座学	鳥取県建設技術センター	建設DX推進のアプローチと、データ活用による業務効率化の実践事例を、地方の中小企業の取り組みを通じて学び、持続可能な建設業の実現につなげる。	・経営層と実務層の認識のギャップ解消 ・参加ハードルの低減 ・後続講習への参加意欲の向上
3	ICTスタートアップセミナー	・ICT建機の実機を用いた講演・実演（実地） ・スマートコンストラクション・レトロフィット等、低コスト導入策の紹介 ・質疑応答・アンケート記入	・ICT建機の基本技術に関する理解 ・実機体験を通じたICT施工への心理的ハードルの低減 ・小規模現場での導入イメージの醸成	－	○	－	○	－	○	○	初級	コマツカスタマーサポート株式会社 様	9/30 10/1	PM×2日 （調整中）	実地	建設技術実証フィールド	ICT建機の実機に触れる体験を通じ、ICT施工への心理的ハードルを下げ、後続の3次元測量・ICT活用工事講習への橋渡しとする。	・ICT施工に対する心理的ハードルの低減 ・若手技術者の理解促進・参加満足度向上 ・後続講習（3次元測量・ICT活用工事）への参加意欲向上
4	BIM/CIM概論：受注者向け	・受注者として押さえておきたい動向・実務で差がつくポイント ・つまずきやすい落とし穴と教訓、受注段階の判断フレームワーク（外注vs内製・LOD設定）の解説 ・質疑応答・アンケート記入	・受注者として押さえておきたい動向の理解 ・受注段階における判断フレームワークの習得 ・受注者としての役割・責任範囲の理解	－	－	○	－	○	○	○	中級	一般社団法人Civil User Group　長谷川 様	9/16	13:00～16:00	座学	鳥取県建設技術センター	受注者として押さえておきたい動向や実務上の判断フレームワークを学び、モデル活用の実効性向上と成果物の手戻り削減、受注判断の迅速化につなげる。	・モデル活用の実効性向上 ・成果物の手戻り削減 ・受注判断の迅速化
5	BIM/CIM概論：発注者向け	・発注者向けBIM/CIM活用の講演 ・要求仕様の設定や成果物活用に関する実務的な内容の解説 ・質疑応答・アンケート記入	・発注者としてのBIM/CIM活用における基礎知識の習得 ・要求仕様の設定方法の理解 ・発注判断に必要な視点の習得	－	－	○	○	－	－	－	中級	山口県土木建築部　技術管理課　建設DX推進班　南 様	9/16	10:00～12:00	座学	鳥取県建設技術センター	発注者として押さえるべきBIM/CIM活用の考え方を、事例・取り組み紹介を通じて学び、要求仕様の質の向上と発注判断ができる状態を目指す。	・要求仕様の質の向上・不要な仕様過多の抑制 ・成果物の活用率の向上 ・発注・受注間の認識ギャップの縮小
6	3次元測量：LiDARとドローンの理解と実践	・LiDAR・ドローンを用いた3次元測量の講演と実演 （座学＋実地） ・操作体験、内製化ステップの紹介 ・質疑応答・アンケート記入 （同一内容を1日2回開催）	・3次元測量の基本技術の理解 ・測量機器とソフトの使い方の習得 ・現場での応用に向けた考え方とスキルの習得	－	○	－	－	－	○	○	中級	株式会社兵庫土木サポート　条谷 様	10/7	9:30～12:30 ／ 13:30～16:30 （同一内容2回開催）	座学＋実地	建設技術実証フィールド	LiDARやドローンを活用した3次元測量の実践的な活用方法を、機材実演と操作体験を通じて理解し、現場での応用に向けた考え方とスキルを身につける。	・座学は理解、実地は納得 ・職種間の共通理解形成 ・実務における測量技術活用イメージの醸成
7	ICT活用工事：AR/VR活用からICT建機まで	・AR/VR活用・ICT建機に関する講演（座学） ・実地会場での実機・実演を伴う体験（実地） ・質疑応答・アンケート記入	・ICT施工の全体像に関する理解 ・AR/VR活用の基本技術の理解と活用方法の習得 ・ICT建機の基本技術の理解と活用方法の習得	－	○	－	－	－	－	○	中級	株式会社山陽測器　綿谷 様	10/22	10:00～16:00	座学＋実地	西部総合事務所 （実地：米子港）	AR/VR活用とICT建機の基本技術を座学と実地の両面で体験し、現場でどう使うかという実務目線での活用イメージを持てるようにする。	・座学での「理解」と実地での「納得」の両立 ・職種間の共通理解の形成 ・ICT建機・AR/VRへの心理的ハードル低減
8	ハンズオン【道路編】	・BIM/CIMの最新動向・事例紹介 ・基本操作の説明 ・地形サーフェス作成 ・道路モデル作成・土量計算・属性情報付与の操作演習 ・質疑応答・アンケート記入	・道路モデル作成の一連の操作の習得 ・地形サーフェス作成から属性情報付与までの流れの理解 ・要求水準に基づく判断力の習得	－	－	○	－	○	－	－	中級	ONESTRUCTION株式会社　安部	11/18	9:30～16:30	ハンズオン	鳥取県建設技術センター	地形サーフェス作成から道路モデル作成、属性情報付与までの一連の操作を体験し、一気通貫で作業できる状態を目指す。	・モデルの作り込み過多防止 ・要求水準に基づく判断力向上 ・道路モデル作成の一連フローを自走できる状態の習得
9	ハンズオン【橋梁編】	・BIM/CIMの最新動向・事例紹介 ・基本操作の説明 ・橋台・橋脚モデルの作成 ・属性情報の付与の操作演習 ・質疑応答・アンケート記入	・橋台・上部工モデリングの操作の習得 ・成果物として求められる属性情報・数量算出の粒度の理解 ・自社の実案件で判断できる基礎の習得	－	－	○	－	○	－	－	中級	ONESTRUCTION株式会社　鈴木	11/20	9:30～16:30	ハンズオン	鳥取県建設技術センター	橋台・上部工モデリングから配筋・積算連携までを体験し、成果物として求められる属性情報・数量算出の粒度を実務目線で理解する。	・モデルの作り込み過多防止 ・要求水準に基づく判断力向上 ・実務経験に基づく解説により、操作の意味を理解し自社の実案件で判断できる基礎を持ち帰れる
10	標準データの役割と重要性	・建設分野のデータ標準に関する講演 ・IFCデータ・J-LandXMLデータの確認・読み込み体験 （簡易ハンズオン） ・質疑応答・アンケート記入	・建設分野におけるデータ標準の理解 ・IFC・J-LandXML等のデータ確認方法の習得 ・成果物の要求水準に対する理解（発注者・受注者双方）	○	○	○	○	○	○	○	上級	ONESTRUCTION株式会社　宮本	11/24	13:30～16:30	座学 ＋ ハンズオン	鳥取県建設技術センター	ハンズオン講習の体験を前提に、データが規格に合っているかを確認する体験を通じて上流から下流までのデータ連続性を理解し、実装フェーズへの判断材料を得る。	・成果物の要求水準の理解向上（発注者） ・データ納品トラブルの予防（受注者） ・次段階（オープンデータ・データ連携講習）への接続強化
11	オープンデータ化の必要性と地域社会への貢献	・静岡県の取り組み（VIRTUAL SHIZUOKA）に関する講演 ・オープンデータ化の意義・課題 ・熱海土石流での活用事例の紹介 ・質疑応答・アンケート記入	・データ活用に関する考え方の理解 ・オープンデータ化の意義と課題の理解 ・地域社会におけるデータ活用の広がりの理解	○	○	○	○	○	○	○	中級	静岡県　杉本 様	11/4	9:30～12:30	座学	鳥取県建設技術センター	地理空間情報のオープンデータ化の意義と、熱海土石流での活用事例を学び、鳥取県の中山間地・砂防リスクへの応用を自分ごととして考えるきっかけとする。	・DX講習を「技術導入」中心から「社会実装」フェーズへ拡張 ・発注者・受注者双方がデータの地域還元を考えるきっかけに ・鳥取県の中山間地・砂防リスクへの応用イメージの醸成
12	聞いて、語る：BIM/CIM活用のリアル （基調講演＋グループディスカッション）	・BIM/CIM活用に関する基調講演 ・グループディスカッション・グループ発表 ・総括・質疑応答・アンケート記入	・BIM/CIM活用の実務における現状の理解 ・発注・受注間の認識ギャップに関する理解 ・ディスカッションを通じた自組織での活用判断力の醸成	○	○	○	○	○	○	○	中級	ONESTRUCTION株式会社	12/10	13:30～16:30	座学 （グループワーク）	鳥取県建設技術センター	基調講演とグループディスカッションを通じて、BIM/CIM活用の現場のリアルを共有し、発注・受注間の認識ギャップを縮小しながら県内業界全体で活用を考える場とする。	・発注・受注間の認識ギャップの縮小 ・モデル活用の実効性向上 ・県内業界全体でBIM/CIM活用を考える場の形成